	No. 12 —	1 基本事務事	業名 人格	を整発地ス	方委託事業	事	事務事業	名人村	<b>権啓発活</b> 動	動事剤	<b>答</b>	公的関	<mark>与</mark> 5 シ	ノート作成	日 平成30	年7月9日
	部局名		市民部		課名		人権課		主務認	果長名	3	大塚 清	シ	ート作成者	首名	<b>泰野浩二</b>
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>	業		3 経常的事	務事業	0 5	5 補助:	金•負担金	҈∙支	援 車 🛎	美運営方法		直営	3	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	持管理	O 6	う内部 <sup>6</sup>	管理事務	・その	)他	民建告力点	2 -	一部委託	4	補助等
		基本構想(政策	策 <mark>)</mark> 6. :	共に生き、	、共につくる阿	可波			実施計	·画			事美	≹の開始∙	終了	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (1)	人権尊重	社会の確立	•		<u> </u>	1 該当		平月		₣ ~ Ⴏ	<u> </u>	年 🛂 期	間設定なし
		主要施策	(2)	あらゆる場	易を通じた人権	養敎育∙昂	啓発の推	進 🔘	2 非該当	<b>当</b>	根	拠法令等	人権啓	発活動再委	託要綱	
		対象(誰を、 何を)	市民													
	X/1 3X - H U/1	目的(どういう)	最終的	すべての	人々の人権が	き重尊	れ、相互に	こ共存し	/得る平和	で豊た	かな社会の	実現。				
PL			今年度	人権講演	会の開催や、	人権擁護	護委員と	連携∙協	別力し啓発	舌動を	を行うことに	よって、市	民の人権意	意識高揚を	図ります。	
AN		具体的にどの														
N		① 人権講演会	会を市内	4中学校で	が開催します。(	(対象:名	S校生徒·	・教員・ア	市職員・市	民)						
	事業の	②「人権の花道														
	活動内容	③ 中学生に。														
		④ 植物の栽地	音•収穫る	を通じてい	のちの循環を	体験して	こもらう「し	いのちの	)リレープロ	ジェク	クト」を、人	権擁護委員	と共に幼科	惟園・認定こ	ども園で実施	をします。 ニュー
		指標名			(は指標設定	理由	単位		平成			平成 2			30 年度	最終目標
	数値目標	人権講演会			学校にて開催	1.	⋼⋅人 ┡	目標			1,500人		回•1,500人		4回・1,500人	、4回・1,500人
	(事業の目的			開催数•参	<b>多加人</b> 致			実績			1,030人		回•1,200人	<u> </u>	<u> </u>	+ 15 150A
	及び活動内 容の達成度	人権の花運動		開催数•耄	参加人数	1 1	回•鉢	目標		_	150鉢		1回・150鉢		1回・150釒	1回・150鉢
	春の達成度 を測る指標)							実績		1 🗓	]•150鉢		1回・150鉢			
		人権パレード		年1回開作	崖		<u> </u>	目標実績			1回 1回		1 <u>0</u>		1[	10
	予算費目	会 計					款	夫棋			項		1 1 1			
	了并良口	五 司	<u>17</u>	成 2	8 年度決	1笛	平成	29	年度決	.笛	平成	30	年度予算		L 備考	
		国庫支出		19% 2	0 十尺//	千円	1 19%	20		<del>开</del> 千円	1 19%	30	<u>千汉                                    </u>	1	畑つ	
			金		801				750				744 千円			
		地方	債			千円				千円			千円			
D	直接事業費	その他特定財				千円				千円			千円			
0			源		49	千円				千円			164 千円			
		計(A)			850					千円			908 千円	_		
		正職員工数·紹	<b>養</b> 0.	450 人	2,619		0.400 /	۱,		千円	0.400	<u>ا</u> ا	<mark>2,322</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職	種					-				•				
		臨時·嘱託工数·絲	圣費	人	0	千円	,	٨	0	千円		人	0 千円	3		
		業費(A+B)	·		3,469	千円			3,163	千円			<mark>3,230</mark> 千円	ก		

					/ _ <del></del>					.== / <del></del>			== '	= 1/ = 0			== /-	
					ック項目				一次	評価			次評価σ			二二二次	マ評価	b
		1.				が確保できる等 影響は大きく <i>を</i>		〇 少	かない	● 大き		めに社会に	人が人らしく こより認めら	れている権		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	代況の中、次年	丰度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	○ な	:11	ある			何からも犯 ければなり			つ ない	0	ある
	要 性					方法等の改善の		あ	る	<ul><li>ない</li></ul>	١		tさせるこの とって必要			<b>う</b> ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサービ			自治体と比較し	<sub>ン</sub> てニーズを	O 1	る	<ul><li>いな</li></ul>	いい		て取り組んで			) いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切とロ	はいえない。	○ v	えない	<ul><li>いえ</li></ul>			のアンケー 者が「人権			) いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢献度	ほが著しく高いと	はいえない。	0 v	えない	<ul><li>● いえ</li></ul>	る	識が深ま	った」と回名	答しており.	. (	) いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	施策の中で舞	頃似・重複し	た事務事業が存	存在する。	す	·る	<ul><li>しな</li></ul>			効性がある も効果的な			する	0	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	できない。		○ で	きない	● でき	<b>3</b>	模索してし	ハきます。		(	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		○ 目	標に比	べて劣ってし			参加者数、特別な傾向に			目標に比	べて劣	らっている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	5 。	<u></u> ත්	まり上が	うていない		はより効果	的な広報手参加しても	段を検討し	~ (	あまり上が	バってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成して	いると思う。		● 概	ね達成	している		るとともに、	講師選択	よどになおし		概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	けして十分にほ	目標を達成し	ていると思う。		O +	·分達成	している		てつの会力	をいたしま <sup>:</sup>	9 。	(	十分達成	えしてい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	,١,			〇高	5()	● 適当			実施手段なが適切が			高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制度	を活用できる。		○ で	きる	● でき	ない	否かを常り	に見直して	いかなけれ		できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手段	等を見直す余均	也がある。	<ul><li>あ</li></ul>	る	○ ない	١	はならない	ハと考えま	9 。	(	<b>う</b> ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な		スト削減の余均	也がある。	あ	る	● ない	١				(	<b>う</b> ある	•	ない
					一次	評価							二	欠評価				
	霊巫右	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	有	ī効性	達成度	効	率性	松	<b>陪合</b> 给	<u>"</u> 価
			4	4	3	3	A			4	<u> </u>	4	4		4		<u>A</u>	
		後の	○ 拡大·充			方法改善	〇 民間委託	モ等 一		拡大·充		<ul><li>現状</li></ul>		○ 方法			<b>貞委</b> 記	汪等
A	方向	自性	)			)廃止/休止			0	縮小		統合/終		○ 廃止/				
AC						対象とした事業に					二次	評価での	指摘事項	及び一次	?評価	との相違の	<u>ā</u>	
Т		出り				いただけるよう												
TIO	課	題				小傾向にあるた			ŧ									
						ず見直していかれ			人槍	を 発は、	地道な	よ活動です	トが、人とし	ての根幹	をなす	けものです。		
N	改造	直案	市ホームペー	ジ・ケーブルテ	レビの活用等	まりよい周知	・広報の方法を	考えてし	ヽ関係	部局と連	携し、	心・感性	こ訴え続け	て参ります	F			
		に行	きます。加えて	て、現行の事業	内容に限らす	、違う形で啓発	活動を行うこと	ができる	5									
		画	かを模索してし	<i>い</i> きます。														
		会																
	料料	事項																

	No. 12 —	2 基本事務事	業名 人	<b>権擁護委</b> 貞	員活動事業		事務事業	名人	<b>権擁護委</b> 員	員活動	事務	公的関	与 4 シ	一ト作成日	平成30年	<b></b> 7月9日
	部局名		市民部		課名		人権課	3	主務認	<b>果長名</b>		大塚 清	シー	−ト作成者イ		野浩二
	事業区分	● 1 ソフト			3 経常的事	务事為			金•負担金		<b>4 4</b>	運営方法	≠			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		里 ( (	3 内部	管理事務		他	连舌刀。		-部委託		亅
					、共につくる阿	]波			実施計	画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平月		•		F 🔽 期間	設定なし
		主要施策	(2)	あらゆる場	景を通じた人権	教育	・啓発の推	進   〇	2 非該当	<u>á</u>	根据	処法令等	人権擁護	委員法		
		対象(誰を、 何を)	市民													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的													
PL		たいのか)	今年度	阿波市内に クト」を幼稚	特設人権相談所を 園・小学校で進め <sup>。</sup>	・開設し るととも	ン、市民等の. らに、市内量期	人権を遺》 仮店等で <i>の</i>	届なく守ります D街頭啓発を <sup>:</sup>	・。植物の 行うなど	の栽培・収穫 、幅広い年(	のサイクルを tを対象とす	を通じていのちの る人権啓発を推	)循環を体感し 進してゆきます	てもらう「いのち -。	のリレープロジェ
AN		具体的にどの														
N		)			1、市内3会場で											
	事業の	)			を通じていのな						ープロジェ	クト」を、幼	稚園・小学校	交で実施しま	す。	
	活動内容	)			実施。啓発物品											
		(4) 広報車に	て啓発広	報を行った	とり、文字放送	•広報	紙記事等	を活用し	て啓発活	動を推	進し、市民	その人権意	識の高揚を	図ります。		
		+F:1== 1	<del></del>	] =   <i>   </i>		ᇑᆂᅵ	124 /T			00 6		균수 /	·	ᅲᄼ	。 左庇	
		指標名	<u> </u>	+	スは指標設定理		単位	目標	平成	28 =		半0.2	29 年度 50回	平成 3	<u>0 年度</u> 50回	最終目標 50回
	数値目標 (事業の目的	特設人権相談の解	解説		3箇所で開催( <sup>3</sup> り、本庁2回に)		回	実績			50回 37回		38回		50回	50回
	及び活動内							目標								
	容の達成度							実績								
	を測る指標)							目標								
	2 M # 5	A =1						実績								
	予算費目	会 計	l <del></del>		·	ht.	款		<i>-</i> -	<i> </i>	項	22	F & 2 &	目	/ <del>++</del> ++	
		同庄士山		<sup>Z</sup> 成 2	8 年度決	_	平成	29	年度決		平成	30	年度予算		備考	
		国庫支出県支出	金			千円				千円			千円			
		地方								千円 千円			<u>千円</u> 千円			
D	直接事業費	その他特定則								千円			千円			
O		一般財	源		350	千円			350				300 千円			
		計(A)	443,		350				350				300 千円			
		正職員工数·	経費 0.	.450 人	2,619		0.400	人	2,372		0.400		2,322 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯										<del>-</del>				
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	0	千円		人	0	千円			0 千円			
	全体事	業費(A+B)			2,969	千円			2,722	千円			2,622 千円			

					ツク項目				一次記	評価		_	·次評価の	D説明			二次	.評価	Ī
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		<ul><li>少to</li></ul>	まい	○ 大き	()	付けられて	ぶります。	は法律で義 また、擁護	委	O :	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	犬況の中、次年	F度以降実施	する緊急性が認	ぬられない。	○ ない	١	<u></u>				人権が侵犯 等を行うなど		0 7	ない	0	ある
	女性	3.	住民満足度の同	向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の急	余地がある。	<u></u>		○ ない		人権思想(	の普及・高技	易に努めてし	いま	0 i	ある	0	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		自治体と比較し	てニーズを	○ いる		○ いな	い	9。入惟翔 支援する必		活動につい <sup>、</sup> ます。	(,	0	いる	0	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切とは	<b>まいえない</b> 。	○ เงิ	ない!	<ul><li>いえる</li></ul>	3			を支援する本的人権を		0 1	いえない	0	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	を 策への 貢献 度	₹が著しく高いと	はいえない。	<ul><li> เงิ</li></ul>	ない.	<ul><li>いえる</li></ul>	3	守られ、ノ	<b>人権意識</b> の	つ高揚が促	進	0 1	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複し	た事務事業が存	存在する。	🔾 ಕೃ		() しない	l,	されて、写 づくりが実		住みよいま 。	<b>まち</b>	Ο.	する	0	しない
H		4.	事業の継続を	としても成果の	D向上が期待	できない。		○ でき	ない	○ できる	3					0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		○ 目標	に比べ	て劣ってい				談を開設し		O 1	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	j 。	() あま	り上がっ	ていない		園関係∙社	会福祉施言	没等へ訪問	し、	<u> </u>	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成して	いると思う。			達成し	ている		を行ってい	ること等を	普及高揚活 鑑みて、目	5期 <b>-</b> 標	<u></u>	既ね達成	してい	გ
	/2	4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		<u> </u>	·连成L			は達成でき	ていると考	きえます。		<u> </u>	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	こコストが高し	١,			○ 高に	١	○ 適当	i			とも、阿波		O i	高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウヤ	か新たな制度	を活用できる。		○ でき	·る		ない	全体を対 います。	象に効率	的に活動し	て	0 -	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	☆成果の関係で	 ご、実施手段	等を見直す余地	 bがある。	<u></u>	,	<b>つ</b> ない						O i	 ある	0	ない
	-	4.	電子化や契約	カ方法の変更な	ょどによりコ	スト削減の余地	 bがある。	<u></u>		<b></b> ない						0 7	 ある	0	ない
					一次	評価							=	次評価					
	評价	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	必	要性	1	剪効性	達成原	度 効	]率性	Ė	総	合評	価
			<b>4</b> ○ ++ +	4 	1 	<b>4</b>	B □ □ ■ ₹ ≡	イ <i>た</i> た	$\overline{}$	<b>4</b>	<u> </u>	<b>4</b>	<u>8</u>		<b>4</b>			A	1 65
		後の 句性	○ 拡大・充	漢 ● 現物 ※ 統合/終	_		〇 民間委託	<del>【</del>		拡大∙充 縮小		<ul><li>● 現状</li><li>統合/終</li></ul>		<ul><li>○ 方法</li><li>○ 廃止</li></ul>				<b>引委</b> 言	t寺
A	יו ני	Ţ				島地区協議会に	加盟し、広く他	かますの	0 '					夏及び一次			)相違占		
T	当面	inの	活動を見聞し	たこと、また活	動拠点となる	事務所を提供した	たこともあり、自	自主的か			<u>一久</u>		10110173	<del>2</del>	N D I II	ЩС 0,		`	
i	課	題		阿波市全体の	人権意識の習	『及・高揚のため	の活動を行って	ていま											
Ō			す。						限られ	れた予算	の中	で、色々と	工夫を凝	らした人権	啓発	活動	が行われ	いてい	ます。今
N			思考錯誤しな	がら、自主的に	こさまざまな活	動を実施してい	ます。人権啓発	<b>発活動の</b>	後とも	連携を習	密にし	、活動の	総括もしな	がら継続し	した耳	なり組み	みを行っ	て参	ります。
	と事	<b>√</b> I J		F制の強化を凶 なされるべきと		擁護委員活動に	対し必要に応	した連携											
	計		JA 10 X JX/J	WC400 -CC	.3720-70														
		€会 事項																	

	No. 12 —	3 基本事務事	業名 公会	堂・老人ルー	-ム管理運営事業	事務事	業名	公会堂・老人ルーム	ム管理運営事	業 公的関	与 3 シ	一ト作成日	平成30年	<b></b>
	部局名		市民部		課名	人権	果	主務課長	:名	大塚 清	シー	−ト作成者名	村山	山 猛之
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業	<b>3</b>	経常的事務事	業	5 補	助金・負担金・ヲ	5援 🗼	業運営方法	_	営	□ 3 全	≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	<b>9</b> 4	施設の維持管	理	6 内	部管理事務・そ	の他	未连占刀広	√ 2 −	-部委託	4 <b></b>	助等
		基本構想(政	(策) 6.	共に生き、	<b>共につくる阿波</b>			実施計画			事業	の開始・終了	7	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (3)	コミュニティ	′活動の促進			○ 1 該当	平月	式 <sup></sup> 年	□ ~ 平	·成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	コミュニティ	′施設の整備			● 2 非該当	根	拠法令等	公会堂・	老人ルーム条	例	
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		会のため、会場 ノ、市民の生命を		ことで生	生活を健全で豊た	いなものとし	、社会福祉の	の増進を図 <sup>し</sup>	ります。また、タ	災害時の自	目主避難場所
P L		たいのか)	今年度		老人ルームにお を行います。	いては、老	朽化か	ば進んでおり、破技	員個所が多く	く見られます	。各行事・自	自主避難時に	安全に使用	引出来るよう年
A					ますか。(主なも									
N		)			、管理人に修繕	箇所等の韓	设告依:	頼し、修繕箇所を	設定します	0				
	事業の	② 破損個所	の早期発	見。										
	活動内容	③ 施錠等の	施設管理	E.										
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又は	は指標設定理由	単位		平成 28		平成 2		平成 30		最終目標
	数値目標						目標		-2,000人		回•2,000人	300回	•2,000人	
	(事業の目的						実統		5回・1560	18	37回・1321			
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実統							
	では1の1月1年/						目標							
	マケまり	<b>→</b> =11				1 +4	実績	頁					1	
	予算費目	会 計	l T	<del></del>	左连边签	款	00	左连边签	項	20	エロマグ	目	/#. <del>*</del>	
		国庫支出		成 28	年度決算	平成	29	1 12417 121	平成	30 4	F度予算		備考	
		県 支 出			<u> </u>			千円			千円	-		
		<u>宗 又 山</u> 地 方	亚  債			_		千円 千円			<u> </u>	1		
D	直接事業費	その他特定則									<u> </u>	1		
0		一般財	源		4,190 <del>↑</del> F						4,077 千円	-		
		計(A)	nis.		4,190 ∓F			3,454 千円			1,077 <mark>4,077</mark> 千円	-		
		正職員工数:	経費	人	0 ∓P		人	0 千円		人	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯				_	- \							
	,	臨時·嘱託工数·		人	<b>0</b> ∓F	3	人	<b>0</b>	3	人	0 千円	1		
	全体事	· 業費(A+B)			<b>4.190</b> ∓ P			3.454 千円			4.077 千円	1		

						ック項目					一次	マ評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	Ī
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	<ul><li>大き</li></ul>	<u>F</u> [1	地域の会 所を提供	することで	生活を	健全	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	状況の中	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>	<b>5</b>	で豊かな				0	ない	•	ある
	生性	3.	住民満足度の「	句上のた	こめに、耳	現在の手段	と、方	法等の改善の余	戻地がある。	0	ある	ない	١	災害時の	身近な自			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	● いた	いに	して必要	です。			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	らために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	<ul><li>● いえ</li></ul>	<u>-</u> る	修繕によ公会堂を				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化	など、施	策への貢	献度か	ぎしく高いと	<b>まいえない</b> 。	•	いえない	○ <i>い</i> え	<u>る</u>	色々の会	合に使用	する事件	列があ	•	いえない	0	いえる
CH	姓	3.	市が実施する	。 施策ℓ	の中で類	[似・重複	した	事務事業が存	在する。	•	する	しいな	ili	り、今後、 設につい	ても修繕す	けること		•	する	0	しない
E		4.	事業の継続を	Eしても	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	● でき	る	用後向上	が図れま	す。		0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして近	<b>進捗状況</b>	が劣って	いる	と思う。		0 1	目標に比	べて劣ってし	いる	施設が多ないが、全				0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	すして原	成果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上か	がっていない		交流と地				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して根	既ね目標	を達成し	てい	ると思う。		O #	概ね達成	えしている		ます。				0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十	ト分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達瓦	<b></b>						•	十分達成	してい	<b></b>
		1.	効果に比べて	Cコスト	トが高い	0				0	高い	● 適当	<b>当</b>	予算にあ います。 <i>t</i> :				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	ҟのノ宀	ナハウや	新たな制	度を	·活用できる。		0	できる	● でき	ない	管理運営	について	ま、財政	か面が	0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	成果0	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	<ul><li>ない</li></ul>	١	市民の行 主管理運				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	为方法∂	の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	゚゚ゕ゙゙ある。	0	ある	<ul><li>ない</li></ul>	١					0	ある	•	ない
						_	次評	•• •				•		•		次評価					
	評值	五点	必要性		効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要性	1	有効性	達成原	复	効率性	ŧ	総	合評	価
	<u></u>	後の	<b>4</b> ○ 拡大·充		<u>2                                    </u>	4		<b>4</b> 方法改善	C ○ 民間委託	华	0	<b>4</b> 拡大∙充	<u> </u>   字	<b>2</b>   ┃● 現状	4 ·維培	<u></u>	<u>4</u> 法改善	Ė		<u>C</u> ]委i	华
		句性	○ 縮小		充合/終			廃止/休止	〇 民间安日	<del></del>	Image: control of the		Ô	統合/終			<u> </u>		O KIF	13 3 7	- T
A			O TILL 3	10 12	,	///IIX/C		// IT			Ĭ	1714		評価での					の相違点	į	
TIO	課	題	破損個所の修	を繕が必	必要です。	0		も多く、全館で			公共		2置目	目的の検証	が図られ。						状況並
N	と多	₹行	安全に使用出 費用を少なくし 開催し市民の	<b>、ます。</b>	使用度を	を上げるた	-めに	きます。破損個 地域活性化事 。	  所を早めに発   業等を利用し、	見し修 . 講座	s繕 <sup></sup> びに 等	こ市民要望	星の把	湿握に努める	ます。						
		員会 事項																			

	No. 12 —	4 基本事務事	業名  隣仏	<b>R館管理</b> 運	<b>型学事業</b>	事務事	業名 隣傷	R館管理運営:	事業	公的関与	6 シ	一卜作成日	平成30年	F7月18日
	部局名	•	市民部		課名	人権	果	主務課長	名	大塚 清	シー	-ト作成者名	上日	日 尚子
	市米区八	○ 1 ソフト	事業	0;	3 経常的事務事	業	5 補助:	金•負担金•支	援事。	*************************************	_ ✓ 1 直	営	3 全	部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業	0 4	4 施設の維持管	理 ①	6 内部	管理事務・その	)他	業運営方法	2 -	·部委託	4 補	助等
		基本構想(政	策) 6.	共に生き、	共につくる阿波	•		実施計画			事業	の開始・終う	7	
	総合計画	基本計画(施	策)(1)	人権尊重	社会の確立		<b>O</b>	1 該当	平	成 年	~ 平	成年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	隣保館事	業の充実		0	2 非該当	根	!拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	市民(周:	辺地域住民	₹)									
	X/1 3X - 11 11/1	目的(どういう状態にし	最終的		上や人権啓発の任 問題に対する活動				ュニティセ	ンターとして、	也域社会に	こ密着し各種	相談事業を	総合的に行
PL		たいのか)	今年度	会館だより	りの充実を図り広く	隣保館を	利用しても	らうことを目的	とします。					
A					ますか。(主なも		で)							
N		)			権相談・生活相談	)								
	事業の	② 地域交流												
	活動内容	③ 啓発・広幸		だより発行	・パネル展)									
		4 施設利用	の充実											
		5		T=1.55 10		1 3271								
		指標名	<u> </u>	計算式又	.は指標設定理由	単位		平成 28		平成 29		平成 30		最終目標
	数値目標	施設利用(4館	')	年間延べん	人数	人	目標 実績		28,000 25,236		28,000 26,444	_	28,000	
	(事業の目的 及び活動内						目標		12,000		15,000		15,000	
	容の達成度	地域交流事業	(4館)	年間延べん	人数	人	実績		14,470		14671		10,000	
	を測る指標)			# BB \$ 16.1	- w.		目標		12		12			
		広報活動(4館	()	年間実施	<b>回</b>		実績		12		12			
	予算費目	会計				款			項			目		
				成 28	3 年度決算	平成	29	年度決算	平成	30 年	度予算		備考	
		国庫支出			千円			千円			千円			
		県 支 出	金		11,634 千円			11,845 千円		11,8	845 千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	正汉于水关	その他特定則			17 千円			55 千円			40 千円			
0		一般財	源		5,926 千円			11,664 千円			000 千円			
		計(A)	₩ # 4	000	17,577 千円			23,564 千円	1.000		385 千円			
	し供書(5)	正職員工数·統		000 人	5,819 千円	1.000		5,930 千円			<mark>305</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託崩 臨時·嘱託工数·			:館館長 13,500 千円	7.500	隣保館:	<b>昨長</b> 13,500 ←円		隣保館館長 12	500 千円			
	<b>全</b> 体重量	<sup>臨時・嘱託工剱・</sup> 業費(A+B)	<b>社</b>	500 人	36,896 千円		人	13,500 千円 42,994 千円	7.500		190 千円 190 千円			
	エ件事	木貝(ハーロ)			- 50,090 千円			<b>サム,334</b> 下門		50,				

				チェ	ック項目				一次	(評価		_	-次評価の	D説明			二次	評価	
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		0 :	少ない	<ul><li>大意</li></ul>	きい	軸になって	業では相でいます。	行政等	連携	O :	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	度以降実施で	する緊急性が認	忍められない。	0 7	ない	<ul><li>ある</li></ul>	3		がらいつて 必要です。			0 7	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	句上のために、	現在の手段、ス	方法等の改善の	余地がある。	O i	ある	<ul><li>ない</li></ul>	,١		必安でする			O 7	ある	•	ない
	_	4.		D低下がみられ ごスとなってい		自治体と比較し	ンてニーズを 	0 1	いる	● いた	はい	ターとして	必要性は	大きい	です。	O 1	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容が必	必ずしも適切とい	<b>まいえない</b> 。	0 1	いえない	● いえ	える		,(特に高歯 易として活			0 (	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、旅	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0 1	いえない	● いえ	える	す。各講原	座の参加に	こより高	齢者	0 (	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	頁似・重複し7	た事務事業が存	存在する。	0 -	する	● した	ほい		鈴者)の安 きる体制で			0 -	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果の	)向上が期待	できない。		0 -	できない	● でき	<b>≛</b> る	がある。				0 -	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	記が劣っている	ると思う。		0 1	目標に比	べて劣って	いる	地域交流	事業の講 り参加者			O 1	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	sまり上がっ <sup>-</sup>	ていないと思う	5 。	( ) a	あまり上か	ぶっていない	ı	います。	ツ参加石ノ	く女(人)・4	目ん ( )	<u> </u>	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	栗を達成してい	いると思う。		_	既ね達成	している					Ī	〇 相	既ね達成	してい	გ
	/2	4.	目標設定に対	付して十分に目	標を達成し <sup>*</sup>	ていると思う。			十分達成						ŀ	<ul><li>-</li></ul>	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,			O i	高い	<ul><li>適:</li></ul>	当		あっぷ、N			O i	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	<b>本のノウハウ</b> や	か新たな制度:	<u></u>		0 -	できる	<ul><li>でき</li></ul>	きない		:等講演な )人権啓発			0 -	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	☆成果の関係で		等を見直す余均	 也がある。	0 7	<u></u> ある	<ul><li>ない</li></ul>	,١	す。			ŀ	O i	ある	•	ない
	-	4.	電子化や契約	 り方法の変更な	よどによりコン	スト削減の余均	 也がある。	<b>O</b> i	<u></u> ある	<ul><li>ない</li></ul>	,۱	•			-	O 7	ある	•	ない
					一次訓	平価			Т				=:	次評価					
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	<b>必要性</b>	7	与効性	達成原	Ŧ	効率性	ŧ	総	合評	価
		後の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<b>  4</b> E実   ● 現∜	<b>  4</b> 犬維持	<u>      3         </u> □方法改善	A   ○ 民間委i	エ笙	0	<b>4</b> 拡大∙タ	2年	<b>4</b> ● 現状		<u></u> 方	<u>4</u> 法改善	<u> </u>	○ 民間	A 表記	华
		句性					〇 民间安部	L <del> 1</del>		縮小		統合/終			<u> </u>				<u>.</u> →
A	73.		隣保館利用者	が高齢化して	いる。もっと若	い世代にも利用			<b>あ</b>	41H 3		評価での					相違点		
CTIO	課	面の	行うことが必要	要です。		会館だよりによ			地垣			こたえると			う々の連	語・交	流の場	として	
N	وَعَ	革案 実行 画	現在高齢者のシェード}作りを計画してい	を計画していま	の参加は充実 す。小学校、	€しています。子 高等学校教諭ダ	・供向けに{ラン 対象に人権問題	対象が		続き運営	然につ	いて、努力	して参りま	きす。					
		員会 i事項																	

	No. 12 —	5 基本事務事	業名 住宅	三新築資3	金等貸付事業	=	事務事業	名 住宅	官新築資金	等貸付		公的関与	6 シー	ート作成日	平成30年	
	部局名		市民部		課名		人権課		主務課		J	大塚 清	シー	·卜作成者名	-	↓ 猛之
	事業区分	1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	<b>务事業</b>	0 5	5 補助₫	金•負担金•	·支援	車 类:	運営方法	✓ 1 直		3 全	部委託
	争未应力	0 2 N-F	事業	0	4 施設の維持	寺管理	. O 6	う内部領	宫理事務∙-	その他	争未见	<b>里</b> 古刀広	<b>√</b> 2 −	部委託	4補	助等
		基本構想(政	<mark>(策)</mark> 5. l	明日への	基盤が整った	:阿波			実施計画	<u> </u>			事業	の開始・終	了	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (4)	住宅施策	その推進			<ul><li>•</li></ul>	1 該当		平成	年	~ 平月	<b></b>	E J期間	設定なし
		主要施策	(2)	良質•安	全な住宅建設	及び改	枚修の促:	進	2 非該当		根拠	l法令等				
		対象(誰を、 何を)	住宅新築	資金等貸	付借入者											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	貸付金全	ての償還											
PL		たいのか)	今年度	償還率向	上のための徴	収強化	;									
A					いますか。(主		5つまで	)								
N		① 滞納徴収	(催告書	発送•電話	催告∙訪問徴↓	又)										
	事業の			<b>奪∙</b> 償還台												
	活動内容			金申請事務	务)											
		④ 実績報告														
		⑤ 貸付事業														
		指標名	<u>名</u>		ては指標設定理		単位		平成			平成 29 :	1	平成 3		最終目標
	数値目標	貸付事業償還額			資金等償還額	(現	円	目標			6,936		0		0	
	(事業の目的			年度)	- A			実績		3,230			0		1 000 000	
	及び活動内 容の達成度	貸付事業償還額		住宅新築  年度)	資金等償還額	[(過	円	目標		3,500			500,000		1,000,000	
	を測る指標)			十尺)				実績 目標		5,389	9,421	,	940,816			
								実績								
	予算費目	会 計					款	大限			項					
	了开关口	Д	亚	.成 2	8 年度決	. 質	平成	29	年度決算	<b>有</b> 工		30 年月	度予算		備考	
		国庫支出	_	-		千円	1 774			-円	774		千円			
		県 支 出	金		1,651	千円			1,148 =	-円		8	14 千円			
	<b>本拉市米弗</b>	地方	債			千円				-円			千円			
D	直接事業費	その他特定則	<b></b>		688	千円			941 +	-円		6	91 千円			
0		一 般 財	源		885	千円			964 ∃	-円		4	16 千円			
		計(A)			3,224	千円			3,053			1,9				
		正職員工数·		人	0	千円	0.900 /	١	5,337	一円 0.	.900 人	5,2	<mark>25</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯														
		臨時·嘱託工数·	·経費	人		千円	,	\ \	0 =		人		0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			3,224	千円			8,390 =	一円		7,1	<mark>46</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価	の説	明		二次	評価	Б
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	, (e	)大	きい	還の約定	の償還事 期間中 <i>0</i>			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	犬況の中、	次年	度以降実	施す	トる緊急性が認	ぬられない。	0	ない	(	ある	3	ません。				0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余		0	ある	(	なし	۸,					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ				隣自	目治体と比較し	, てニーズを -	0	いる	•	いた	ない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	めに、	事業内容	『が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえた	in C	いえ	える	償還中のは継続に	貸付事業なります。		め事業	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化なと	:、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえた	3U (	いえ	える	10041110011		)		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	した	はい					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成	果の	向上が期	待て	<b>ごきない</b> 。		0	できた	را ت	でき	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	ると思う。		0	目標(	こ比べて	劣って	いる	目標設定 後の徴収	に達して			0	目標に比	べて生	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	うて	こいないと思う	, .	•	あまり	上がって	いない	١	及の成功	(JK 107) 72	, <del>y</del> C	7 0	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てし	いると思う。		0	概ね道	主成して	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	えして	こいると思う。		0	十分	達成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い	· o				0	高い	(	適	当		導入によ めますか			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	]度を	た活用できる。		0	できる		) でき	きない	の費用対				0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員の	ヒ成果の関	係で	、実施手	段等	<b>手を見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	C	なし	۸,					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	更な	どにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	なし	۱,					0	ある	•	ない
							次評	•• •							•		次評					
	評值	西点	必要性	有効性	Ė	達成原	<b></b>	効率性	総合評	価		必要		1	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	·価
	今後	多の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<u>  4</u> E実   ●	 現状	<u>2</u> :維持	0	<u>        4         </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	托等		<u>4</u> 〇 拡	· 大·犭	_ <u></u>	<b>4</b>   ● 現状	<u>4</u> 		4 方法改	姜		A 『委』	 迁等
A		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止		<del></del>		<u>)</u> 縮		Ô	統合/終		_	廃止/休				
C														二次	(評価での	)指摘事	頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
T		面の問題	死亡•病気•高	高齢∙破産∙	行方	不明等に	よる:	長期滞納案件の	の対策が課題	です。												
0												- 屋の	リロ 糸巾 茗	タカレ	:事業内容	の知場と	を 押え	を行います	_			
N		革案 実行						事務の見直しを	さるとともに、	回収	方	76 47	12.11.12	,,,,_	. 7 . 7 . 7	47 JUJEC	E-10	_     0 0 0	0			
		画.	法について法	い措置も含	まめた	:検討が必	少安に	こなります。														
		員会 事項																				

N	o. <mark>12 —</mark>	6 基本事務事	業名 男女	女共同参画	<b>画推進事業</b>	事務	8事業名	男女共	同参画推	推進事務	j	公的関与	1 5	ノート作成	日日	F成30年	F7月9日
	部局名		市民部		課名	人	権課		主務課長	- 名	ナ	塚清	シ	ート作成す	者名	藤!	野浩二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				負担金・		車業温	営方法		直営			部委託
	<b>事</b> 未匹刀	○ 2 ハード			4 施設の維持		○ 6 ₱		事務・そ	の他	宇木足	百刀瓜		一部委託		4補	助等
					、共につくる阿え				[施計画					美の開始・			
	総合計画				参画社会の形			① 1			平成	19 年		<sup>Z</sup> 成			設定なし
L		主要施策	(2)	男女共同	参画社会への	意識改革	5の推進	O 2	非該当		根拠	去令等	男女共同	司参画社会	≹基本法	Ę	
		対象(誰を、 何を)	市民、行	政、企業、													
3	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		発活動や学校教 共同参画社会の					男女共同	参画の	視点に立	た社会	:制度•慣行	テの見直	しや意	識改革を推進
PL		たいのか)			平成30年度に終			度第3次	計画策定	を行う。							
Ā					<b>ゝ</b> ますか。(主な	ょもの5つ	つまで)										
A N		① 人権啓発	*男女共	同参画講演	寅会の開催												
	事業の	② 広報紙で	の啓発活	動													
	活動内容	3															
		4															
		5		T=1++ 1					_ 8								
		指標名	<u> </u>		は指標設定理			1 <del>222</del>	平成 28			平成 29			30 左		最終目標
	女値目標 事業の目的	「男女共同参画社 用語の周知度	会」という		女共同参画基本次)数値目標(平 定)			標 :績		,	95		95			95	100
	び活動内		等法しとい				B	標		,	95		95	5		95	100
	Fの達成度 ・測る指標)	う用語の周知度	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		"	%	美	!績									
7	別の田宗	「DV」「デートDV」と	という用語			0/	, 目	標		(	95		95	5		95	100
		の周知度			<i>II</i>	%	美	!績									
	予算費目	会計					款				頁			目			
				成 2	1 15417 15		成 2	<u>9</u> 호	=度決算	平成		30 年	度予算			備考	
		国庫支出				千円			千F				千円	_			
		県 支 出	金			千円			千F				千円				
Ī	直接事業費	地方	債			千円			千F				千円	_			
DO		その他特定則				<b>千円</b>			±F				千円	_			
U		一般財	源		385 =				606 ∓F				,157 千円	_			
		計(A)			385 <del>T</del>	HH			<mark>606</mark> ∓F	4		5	<mark>,157</mark> 千円	<b>-</b>			
			汉弗 △	100 1	E00 -	rm 00	OO I	4	106	_ ^ ^ ^	ΛI	4	161				
	↓ // 弗 / p \	正職員工数·紀		100 人	582 =	f円 0.2	200 人	1	<mark>,186</mark>	9 0.20	0 人	1	<mark>,161</mark> 千円	1			
,	人件費(B)		战種	100 人	582 <del>1</del>		人 000	1	, <mark>186</mark> ∓F 0 ∓F		0 人	1	, <mark>161</mark> 千円 0 千円				

				ク項目				<b>一</b> 岁	欠評価		_	·次評価 <i>0</i>	説明		二岁	マ評価	
		1.	市が実施しなくても、公平性 主体があり、事業を廃止・位				0	少ない	•	大きい	進を図る	参画意識 ために必要			○ 少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年月	度以降実施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある	考えられ	ます。			○ ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現	在の手段、方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	•	ない					<ul><li>ある</li></ul>	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられた 上回るサービスとなっている		治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない					○ เงื	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために、	事業内容が必	ずしも適切とに	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	•	いえる		参画意識 効な事業		<b>図る</b>	○ いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策	<b>食への貢献度</b> か	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる	/2001C F3	<i>7</i> 0.64 ×	- / 0		○ いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する施策の中で類似	以・重複した	事務事業が存	存在する。	•	する	0	しない					○ する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向	句上が期待で	きない。		0	できない	•	できる					〇 できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が	が劣っている	と思う。		0	目標に比	とべて劣	っている		会をより多男女共同			○ 目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対して成果がある	まり上がって	いないと思う	5 。	0	あまり上が	がってい	ない	関する意	識のさらな	る高揚を	図	○ あまり上が	バってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標で	を達成してい	ると思う。		<u> </u>	概ね達成	大してい!	 る		あるかと思 の人員を銀			○ 概ね達成	している	3
	<i>'</i> ~	4.	目標設定に対して十分に目標	票を達成して	いると思う。		_	十分達成				達成できる			● 十分達成	えしてい	გ
		1.	効果に比べてコストが高い。				0	高い	0	適当		の男女共同			○高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新	断たな制度を	活用できる。		0	できる	0	できない	参画担当	すためにに 職員を配	置するなど		○ できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、	実施手段等	を見直す余地	也がある。	•	ある	0	ない	┫人員の確 す。	保が必要	と思われま	ŧ	<ul><li>ある</li></ul>	•	ない
		4.	電子化や契約方法の変更なる	どによりコス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					<ul><li>ある</li></ul>	•	ない
				一次評	·価							=;	欠評価				
	評化	三	必要性 有効性	達成度	効率性	総合評	価	:	必要性	生	有効性	達成原	. 効	率性	E 総	合評	価
	<u>ہ</u>	を の	4   3   ○ 拡大·充実   ⑥ 現状紀	3 維持     ○	<u>3</u> 方法改善	A   ○ 民間委i	1生	0	4 坎 ★	<u> </u> 、·充実	<b>4</b> ┃ <mark>●</mark> 現状	<b>4</b> ├維蛙	<u> </u> 〇 方法	<u>4</u> 改姜			华
		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期		廃止/休止	〇 民间安市			71.		統合/終		〇 廃止			可安山	, <del>1</del>
A									THE S						西との相違に	<u> </u>	
ACTIO		面の 題	男女が対等に社会参加し、共日 めの施策を推進するには、人員 す。	に役割や責任 員増などの環	Eを分かち合え 境・条件等の§	る社会を築いて 整備が必要と思	ていく <del>だ</del> 思われ	,ま 現る	在実施	されてい	る関係部属	高との連携	による開係	崔方法	去が現時点で 的に十分配慮	は良い	いのでは
Ň	وع	革案 実行 画	第2次基本計画の方向性に沿・	 った事業を今	後も進めている	きます。		す。		► JN' <sub>0</sub> Ē	中叫达小小	-V1 (I) 61-	ハで尹	* C	ロット 一刀 自ら原	30 C2	, 7 <del>c</del>
		員会 i事項															